

life

くらし

# 健康110番

国際医療福祉大学病院です



鈴木裕副院長

食道まわりはリンパ管や血管が豊富なので、食道がんは他の消化器のがんよりも転移しやすいといわれています。

## 鏡視下手術で負担少なくて

大きく分けて四つあります。大きく分けて四つあり「外科療法」は、食道がんに対する最も一般的で確実な治療法です。食道を切除し、同時にリンパ節を含む周囲の組織を切除します。「放射線療法」は放射線でがん細胞を殺す局所治療で、放射線

大きく分けて四つあり「外科療法」は、食道がんに対する最も一般的で確実な治療法です。食道を切除し、同時にリンパ節を含む周囲の組織を切除します。「放射線療法」は放射線でがん細胞を殺す局所治療で、放射線

「化学療法（抗がん剤）」は、抗がん剤を注射したり内服したりする治療法です。抗がん剤は、がん細胞の増殖・分裂を阻害し、がんを死滅させたり小さくしたりします。「内視鏡的粘膜切除術」は、早期のがんを内視鏡で食道の内側から切りとる治療法です。

「化学療法（抗がん剤）」は、抗がん剤を注射したり内服したりする治療法です。抗がん剤は、がん細胞の増殖・分裂を阻害し、がんを死滅させたり小さくしたりします。「内視鏡的粘膜切除術」は、早期のがんを内視鏡で食道の内側から切りとる治療法です。

「化学療法（抗がん剤）」は、抗がん剤を注射したり内服したりする治療法です。抗がん剤は、がん細胞の増殖・分裂を阻害し、がんを死滅させたり小さくしたりします。「内視鏡的粘膜切除術」は、早期のがんを内視鏡で食道の内側から切りとる治療法です。

下食道がん手術が開発（第2、4木曜日掲載）

（副院長・外科上席部長 鈴木裕）

**Q** 50代の男性です。近医で食道がんを指摘され、手術が必要と説明されました。食道がんの治療法、特に手術について教えてください。

**A** わが国では毎年1万人以上の方が食

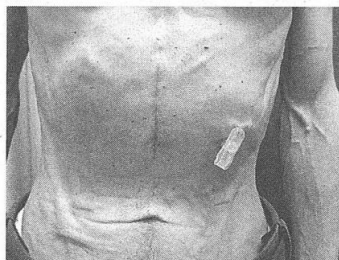
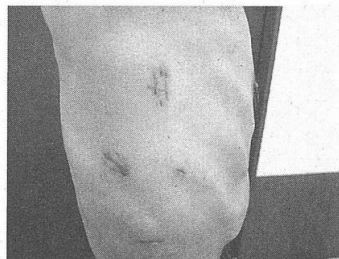
## 食道がんの治療法は

道がんは罹患します。その頻度は胃がんの8分の1です。50代以降、加齢とともに急激に増加し、70代以上が30%以上で、高齢者が多くかかります。男女比は約6対1で男性に多く、男性では6番目に多いがんです。

また、食道のリンパ節は頸（首）や胸腹部につながっているため、頸や腹部のリンパ節に転移をすることもあります。血液の流れに入り込み、肝臓や肺、骨などに転移することもあります。

食道がんの治療法は

鏡視下手術を受けた患者の頸部（上）、胸部（中央）、腹部（下）。大きな切開が必要ないため、患者の負担は少なく、傷も目立たない



従来の食道がんの手術は頸、胸、腹を大きく切開し、肋骨なども

「化学療法（抗がん剤）」は、抗がん剤を注射したり内服したりする治療法です。抗がん剤は、がん細胞の増殖・分裂を阻害し、がんを死滅させたり小さくしたりします。「内視鏡的粘膜切除術」は、早期のがんを内視鏡で食道の内側から切りとる治療法です。

健康の不安や疑問について、読者の皆さんの質問を募集します。症状や経過をなるべく詳しく、その人の年齢、性別も書いてください。投稿者の住所、名前（ペンネーム可）、年齢、

性別を記入し、〒320-8686 下野新聞社くらし文化部「健康 110番」係へ。住所不要。FAX (028・625・1185)、メール (platina@shimotsuke.co.jp) でも受け付けます。